

HiCEL オープンラボ

東京都市大学 工学部 電気電子工学科
電力エネルギー分野 大電流エネルギー研究室

日時：2018年2月17日（土）13:40 - 19:00

場所：東京都市大学 世田谷キャンパス 2号館

アクセス：【東急バス 玉11系統】 二子玉川駅 ⇄ 多摩川駅 ⇄ 小杉駅東口（東急 武蔵小杉駅）が便利です。
最寄りのバス停は、「東京都市大南入口」です。徒歩3分で大学です。
検索の際は、「東京都市大学南入口」ではありませんので、注意してください。

プログラム

13:30 受付開始（必ず受付をお願いします。）

受付開始

（場所：2号館 1階 ロビー）

参加者の方には、最優秀発表賞を決める審査員になっていただき、投票に参加をお願いいたします。

前半発表 13:40-14:40

後半発表 14:40-15:40

13:40-14:40

21B 教室 学生（前半チーム）による研究紹介（ポスター形式）

14:40-15:40

21B 教室 学生（後半チーム）による研究紹介（ポスター形式）

15:40-15:45

写真撮影

（場所：2号館 1階 ロビー）

15:45-16:10

HiCEL 研究室概要説明会

（場所：21A 教室）

16:10-16:40

実験室公開

（場所：10号館 2階 HiCEL 大電流エネルギー研究室）

16:40-19:00

交流会、表彰式、御来賓から一言

（場所：10号館 2階 HiCEL 大電流エネルギー研究室）

表彰の選考方法

発表を聴いて各学年につき1名、最も優れていると感じた発表者に投票をお願いいたします。
詳しくは当日配布する資料をご参照ください。

交流会概要

来場者の皆様と HiCEL の学生との交流の場として親睦を深めるための交流会を開催いたします。

寄付について（OB/OGの皆様へ）

ご寄附をお願いしたい金額

1口 5000円

寄付の使途は今回の運営、交流会、研究室の発展の方で使わせていただきます。

寄付の趣旨をご理解いただき、何卒複数口の御協力を歓迎いたします。

ポスター内容

奇数番号→前半発表 13:40-14:40 偶数番号→後半発表 14:40-15:40

電力系統

①	M2	福岡玲央	近距離送電線事故遮断条件の決定に向けたアークモデルを考慮した一機無限大母線系統の過渡解析
---	----	------	--

遮断器

②	M1	石川裕也	ガス吹付け形状が及ぼすポストアークのアークコンダクタンス低下への寄与
③	M1	内藤友人	縦磁界を用いたスパイラルアークの回転半径と回転周波数
④	B4	駒井優治	ガス遮断器におけるアークの遮断性能向上に向けたSF6ガス吹付けタイミングの解明
⑤	B4	西澤翔也	棒対中空円筒電極間に発生するアークを模擬した3次元電磁熱流体プログラムの開発
⑥	B4	根本雄介	熱的非平衡を考慮したアークの温度分布の解析
⑦	B3	鈴木祐揮	ガス遮断器におけるアブレーションを考慮したコンダクタンスの解析

溶接

⑧	M2	椎野透	アーク硬直化に向けたアークの小回転半径化に及ぼす回転横磁界による電磁力の寄与
⑨	M2	高橋広樹	パルスアークにおける陰極近傍の電磁力が及ぼす熔融池近傍の窒素濃度への寄与
⑩	M2	真栄田義史	外部磁界印加時におけるアーク軸中心部の流速が及ぼす径方向の対流熱輸送の抑制
⑪	M1	坐間義幸	アークの指向性の向上に向けた横風による力および電磁力が及ぼすアーク偏向距離の算出
⑫	B3	須貝航一	パルスアークが寄与する横風吹き付け時の欠陥防止
⑬	B3	竹内幸史朗	長ギャップアークシミュレーション手法の開発
⑭	B3	松本昂樹	アーク偏向抑制に向けた高周波回転磁界印加装置の開発

レーザガン

⑮	M2	犬塚祐太郎	磁気駆動アークにおける陽極点の膠着力の解明
⑯	M1	大和嵩	磁気駆動アークにおける外部磁界印加が及ぼすアーク駆動姿態への寄与
⑰	B4	小久保翔太	磁気駆動アークを模擬した3次元電磁熱流体プログラムの開発

放射

⑱	M2	清水雄太	水渦流冷却型器壁安定化アークにおけるランプ効率に及ぼす温度効果と体積効果の寄与
⑲	M1	浅野雄飛	器壁安定化アークの電極先端角度変更時における金属蒸気混入分布が及ぼす放射パワー
⑳	B4	岩崎智成	器壁安定化アークにおける紫外線放射パワーの測定

真空

㉑	D3	山本真司	蒸気混入真空アーク陰極点の挙動に関する研究
㉒	M2	金田至功	横磁界印加時における真空アーク陰極点の移動軌跡
㉓	M2	高橋有沙	酸化膜除去面積の拡大に向けた縦磁界が及ぼす真空アーク陰極点の移動軌跡
㉔	M1	岩田総司	真空アークへの縦磁界印加が及ぼす陽極表面の電流密度分布の解明
㉕	B4	竹田悠莉子	圧力変化時における真空アーク陰極点の移動軌跡
㉖	B3	カナシロ タンゲ タケヒデ	シース内の電子密度とイオン密度の分布
㉗	B3	堀場祐哉	交番磁界の周波数が及ぼす真空アーク陰極点の表面処理への寄与

高電圧

㉘	B4	徳永梢吾	不平等電界における交流高電圧印加時の絶縁破壊電圧の計測
㉙	B4	川崎一輝	塩が付着した高強度磁器のフラッシュオーバー音の解析
㉚	B3	杉山雄紀	美しい音色の形成に向けたテスラコイル発生電源の開発

21B 教室 ポスター紹介 配置図

奇数番号→前半発表 13:40-14:40

偶数番号→後半発表 14:40-15:40

